



イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やつと関心を集めようになつたこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

新年、おめでとうございま
す。新型コロナの今後につい
ては、全く見当もつきません
が、皆様の健康と安全が護ら
れますように心からお祈りい
たします。

「ハーナーホールムでは少なくとも昨年中は、利用者、職員に感染者を出さずに済みました。内部マニュアルに従つて自宅待機やPCR検査を命令したことはありましたが、十月中旬には、事情がある方を除く全員のワクチン接種が完了しました。

事業運営では、サーバーによるネットワークシステムを導入し、法人内的情報管理と伝達の効率化を図り、続いて人事・労務管理システムを取り入れました。この一月から本格運用する予定です。

また、昨年度の事業分析からは、四拠点それぞれで中長期的な課題が明確になりました。本部では法人全体の研修、人事管理、新規事業企画などを担当する本部機能の確立とホレブ寮の運営、柏拠点では当然のことながらすぐハウスの施設整備が喫緊の課題です。千葉拠点では、

『暮らしやすい社会』

理事長 寺田一郎

下総精神医療センターと隣接している特徴を生かした事業展開を目指します。長生（茂

・自分らしくいられる、自分の言葉で表現しても大丈夫な社会。

・障害者雇用で就職したとき、職場の人たちが精神障

- ・精神障害は目に見えないので
わかつてもらえない。正しい
知識も広まっていないので誤
解が多い。
- ・細かつた。

身体障害のようにもつと理解してほしい。

・身体障害のようなステッカーを車につけたい（この意見によつて議論続出、そういうス

・社会のみんなが全体を見る視
テツカ一があつたらつけたい
という人は四人でした)

野をもつてほしい。
・誹謗中傷のない社会。

険言をうつすにいたるかいで、
いては、否定的な意見が多かつ
たです。彼らが日常生活の中で

経験した辛い場面が垣間見えた
ひと時でした。

ほく・モケテ・キツネ・馬

このことがあってからある本
に出会いました。『ぼく モグ
ラ キツネ 馬』（チャーリー・

マツケンジ一著、川村元氣訳、

がモグラと出会います。モグラは少年に言います「オイラはきっとも小さい」。モグラをだらしあげた少年は「でもきみがいる」と世界はでかくかわる」。そして二人はキツネと馬と出会います。全く違う個性をもつたひとりと三匹のやり取りが続きます。

モグラの言葉「自分にやさしくすることが一番のやさしさなんだ。いちばんゆるすのがむずかしいあいでは、じぶんなんだから」

馬の言葉「みな、なにかをこわがつていて。でもいつしょなら、こわくなる」涙がでるのは、きみが弱いからではない。強いからだ」

さらに馬は少年の問い合わせに答えます「今までにあなたがいたなかで、いちばんゆうかんなことばは?」馬「たすけて」「いちばん強かったのはいつ?」馬「弱さをみせることができたとき」

これらの言葉が印象的です。このほかにも、明快な、そして心からうなづける言葉があります。先ほどのテーマである暮らしやすい社会を実現する示唆に富んでいると思いました。大事なことはそういう社会は誰でも実現できる可能性があるということです。

ホレブデイサービスセンター 作業棟建築・完成

今年度、ホレブデイサービスセンター（生活介護）では、作業棟を建設し、生産活動を行う準備を進めてまいりました。

身体的な介助や見守りが必要な方が、ワークショップしらさど（就労継続支援B型）を使用している状況もあり、ホレブデイサービスセンターで生産活動を行い、工賃を支払う仕組みが整えば、利用いただける方も増えるのではないかと考えております。

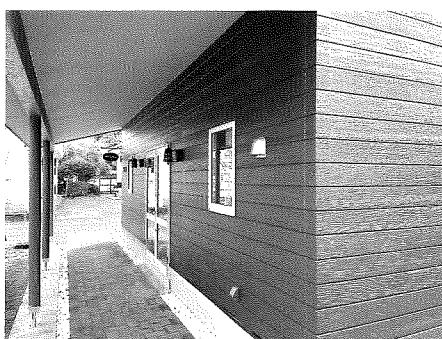
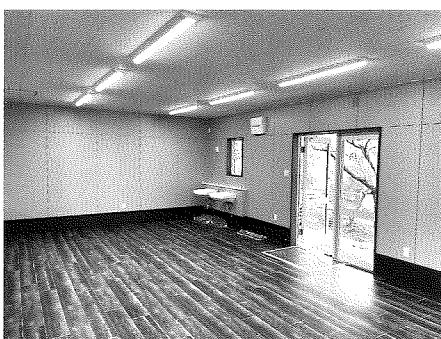
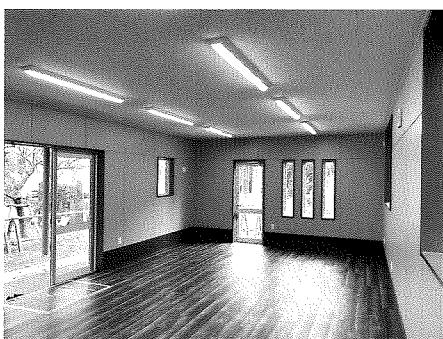
作業棟は、現在のホレブデイサービスセンターの前庭です。九月下旬に工事着工となり、十二月下旬に完成いたしました。建物が出来上がるにつれて、何が出来るのか、何をするのか楽しみにしてくださいました。まだ引き渡し間もない作業棟ですが、本格的に作業がスタートできるよう準備を急ピッチで進めています。

具体的な作業内容は、部品の組み立て等（ワークショップしらさどと共同受注）、取り組みやすい作業を行います。まずは、ワークショップしらさどとホレブデイサービスセンター併用している方を受入



今年もコロナ禍でも工夫しながら出来ること、楽しめることを考えながら、利用者と共に取り組みます。
（高木）

れる予定です。そして、一日を通して生産活動に参加できる方を対象とします。入浴介助やプログラムに参加する日は生産活動には参加出来ない仕組みにいたします。作業棟で一日作業に取り組む日と介護棟でのんびり過ごす日、ONとOFFを切り替えて、ホレブデイサービスセンターで充実した時間を過ごしていただきたいです。



二〇二一年十月十三日、柏原点全体会議が行われました。久しぶりの面研修に五十三名が参加し、ひととき事業所を超えて、柏原点の今をそれぞれに理解し合い、未来とともに考える研修となりました。

二〇〇六年、地域生活支援センターから事業を開始した柏原点は、そのはじまりとなつた相談支援を通じた地域活動を礎に、就労支援、居住支援、訪問看護や医療的ケアを必要とする児童を対象とした障害児通所支援へと活動の幅が広がりました。その役割とともに担つてくれる職員数は七十名を超え、ソーシャルワーカーからパン職人や保育士などその業種も様々です。この全体会議では、普段なかなか深く知る機会のない他の事業所の役割と抱えている課題を知り、違う視点で課題解決の方法を考えるという内容です。

多様な職種の視点を生かし、課題解決を図るプロセスを学ぶこともテーマとし、ワールドカフェ方式で行いました。



会議は、柏原点の重点課題とビジョンを伝える内容に始まり、ここから長期の事業計画を作りました。各グループでは、ファシリテーターから事業や課題について説明があり、異なる事業所メンバーで構成されたグループメンバーがそれぞれの視点から疑問やアイデアを出し合いました。「理想の住まい」や「重度心身障害者の稼ぎ方」「地域に開かれた相談」など、普段の職員会議ではなかなか深堀できないテーマですが、どのグループも盛り上がりいました。参加者からは、「時間が足りなかつた」「普段離せないスタッフと話せてよかったです」など積極的な感想が聞かれ、ここからつながっていく未来がとても樂しみになりました。（大久保）

「相手を知ること」です。障害の種類や程度のみならず、その方の人の柄・性格をよく掴むことを心掛けています。何気ない会話や挨拶も相手からの大切なメッセージであり、それが支援の基盤になっていくと考えています。

②仕事のやりがい

「担当している方が就職された時」です。担当の方と二人三脚で、いくつのステップを乗り越えた先に就職というスタートラインに立ちます。それと同時に、職場定着支援が始まります。職場で生じる悩みや問題の解消に努め、いかに本人が職場で自分らしく働き続けられるかを考える。そこにも就業支援員としてのやりがいを感じます。

③仕事の抱負

「失敗を恐れずに挑戦する」です。失敗は成功への近道であり、失敗をいかに次に活かすかが大切だと考えています。まだまだ知識も経験も浅薄ですので、先輩職員や日々の支援から学ぶ姿勢を忘れず、日々の支援に努めてまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

2022年 新年のご挨拶

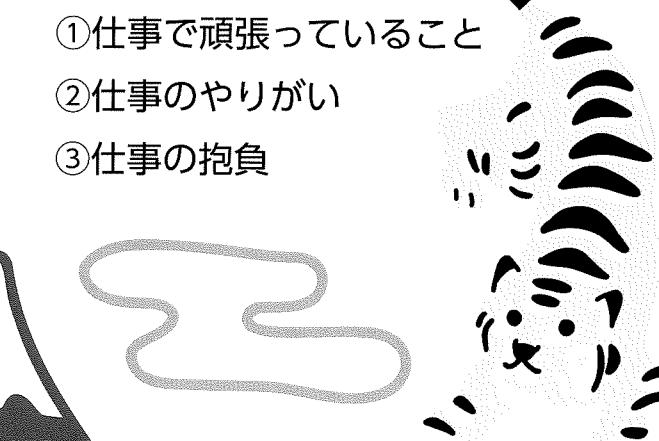
- ①仕事で頑張っていること
- ②仕事のやりがい
- ③仕事の抱負

①仕事で頑張っていること

「相手を知ること」です。障害の種類や程度のみならず、その方の人の柄・性格をよく掴むことを心掛けています。何気ない会話や挨拶も相手からの大切なメッセージであり、それが支援の基盤になっていくと考えています。

②仕事のやりがい

「担当している方が就職された時」です。担当の方と二人三脚で、いくつのステップを乗り越えた先に就職というスタートラインに立ちます。それと同時に、職場定着支援が始まります。職場で生じる悩みや問題の解消に努め、いかに本人が職場で自分らしく働き続けられるかを考える。そこにも就業支援員としてのやりがいを感じます。



これからも初心を忘れず、毎日元気に挨拶し利用者と向き合うこと、精神保健福祉士の資格取得に向け勉強に励み知識を習得するこぶ姿勢を継続します。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたしました。



山武ブリオ
本村侑也

①仕事で頑張っていることは、挨拶を通して、利用者との関りを増やすことです。夏頃から、私も利用者の担当を任されるようになり、その人たちのことに集中してしまい、担当外の人との関りが減ってしまっている気がしました。そのため、挨拶をする際に、ひとこと会話ができるようにし、積極的に利用者との関りを持つことを意識しています。

②仕事のやりがい

私のやりがいは、利用者からの感

謝の言葉です。夜勤時に掃除当番をしていた際に、「いつも話聞いて下さるので、少しでも力になれたら」と言い、掃除を手伝ってくださったことです。日頃の関りが大切だということにも改めて気づくことができました。

③仕事の抱負

私の仕事の抱負は、心に余裕を持ち、行動することです。新社会人となり、学ぶことが多く、目の前のことをやり遂げることに必死でした。段々とできることも増えてきたため、できることは余裕を持って行い、更にできることを増やせるよう精進していくみたいです。



フジエール
久保仁香

四月から新社会人となり九か月経つが、一度も体調を崩すことなく業務をこなすことができています。はじめは利用者との関わりで戸惑うこともありましたが、毎日元気に挨拶することを心がけました。挨拶が返つてこないことがありました。諦めず毎日続けると利用者から声を掛けてくれるようになり、向き合おうとする気持ちを継続することの大切さを感じました。そして、先輩職員の作業指導や生活指導、面談を通し、利用者への対応の仕方を学び実践することで少しずつ成長できていると思っています。日々利用者と関わる中で、小さな変化に気づき寄り添い、共に成長を分かち合えることがやりがいだと感じています。

これからも初心を忘れず、毎日元気に挨拶し利用者と向き合うこと、精神保健福祉士の資格取得に向け勉強に励み知識を習得するこぶ姿勢を継続します。今後もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたしました。

二〇二一年四月にワーナーホームへ入職をしてから九ヶ月経過し、社会人として初めての新年を迎える。た。

①仕事で頑張っていること
私は「どんなことにも興味関心を持つ」のスローガンを掲げて仕事に取り組んでいます。仕事の中で気になつた事や疑問に思ったことはうやむやにせず、すぐに聞くこと・行動に移す事を怠らず日々の業務を行っています。さらに、先輩職員から仕事・人間性の部分も含めていい所をたくさん吸収して仕事に活かしています。

②仕事のやりがい
私にとって「利用者の笑顔を見る事が仕事のやりがいです。毎日顔を合わせる方や限定の曜日にしか会えない方もいますが、プログラム時の関わり・日々の何気ない会話を通して笑顔で反応してくださることがうれしいです。

③仕事の抱負
私の抱負は「国家試験に合格すること」です。社会福祉士・精神保健福祉士どちらも取得し、専門的知識を活かしたサービスを提供できるようになります。

二〇二一年四月にワーナーホームへ入職をしてから九ヶ月経過し、社会人として初めての新年を迎えた。

①仕事で頑張っていること
私は「どんなことにも興味関心を持つ」のスローガンを掲げて仕事に取り組んでいます。仕事の中で気になつた事や疑問に思ったことはうやむやにせず、すぐに聞くこと・行動に移す事を怠らず日々の業務を行っています。さらに、先輩職員から仕事・人間性の部分も含めていい所をたくさん吸収して仕事に活かしています。

②仕事のやりがい
私にとって「利用者の笑顔を見る事が仕事のやりがいです。毎日顔を合わせる方や限定の曜日にしか会えない方もいますが、プログラム時の関わり・日々の何気ない会話を通して笑顔で反応してくださることがうれしいです。

③仕事の抱負
私の抱負は「国家試験に合格すること」です。社会福祉士・精神保健福祉士どちらも取得し、専門的知識を活かしたサービスを提供できるようになります。



大塚 幸大
セントラーホームデイサービス

おめでとう
ございます

私が仕事で頑張っていることは、電話対応と国保連の請求業務です。電話対応では、他の関係機関や企業からの電話を丁寧に取り次ぐのはもちろん、利用者からの相談や悩み事

日々の小口現金等の出金業務など、一つ一つの仕事を丁寧に行っています。

仕事のやりがいは、電話対応し利

用者からの悩み事の相談に乗り、「聞いてくれてありがとう」「アドバイス助かる」と言われると自分の対応が間違つていなかつたと感じ、利用者の力添えをする事ができたと思いました。仕事の抱負ですが、入職して九ヶ月が経ち、まだまだ未熟ですが先輩方からのご指導を頂きながら、今後も日々精進していきます。



池田 晶菜
フジエール



私は事務の仕事と軽作業をしています。事務の仕事は主に小口現金の管理、職員会議議事録作成、勤怠管理、伝票作成、請求書・実績記録票作成、国保連への請求業務などです。軽作業ではパンの組み立てや商品の袋詰めを行っています。また利用者が作った商品の検品なども行います。

仕事のやりがいは、事務の仕事をやりながらも利用者との関わりが多くあります。利用者とのコミュニケーションは大変な部分もありますが、色々な話をするうちにその人のことを知ることができます。利用者と関わることができるので利用者と関わることはとてもやりがいを感じます。

私は福祉や精神障害についての知識がまだまだ浅いので利用者との関わりを通して身に着けていきたいと思っています。利用者一人一人の障害の特性を理解して寄り添い、頼りにされる存在になれるように精進します。



山本 和希
ワークショップおおあみ



9月～12月の 行事プログラム のご報告



今回はとある利用者との歩みをご紹介したいと思います。この方はヘルパーを利用して単身生活をしていました。グルメで食べることが大好きなので、最大で体重が一〇kgオーバーとなっていました。グリルで食べることが大好きなので、最大で体重が一〇kgオーバーとなっていました。二〇kgオーバーとなっていました。二〇二〇年夏、クーラーの使い方が分からず壊してしまった。気になることがあるとあちこちに電話をしたり、頻繁に病院に行ったり、家電の使い方が分からず壊してしまった。気になることがあるとあちこちに電話をしたり、頻繁に病院に行ったり、家電の

使い方が分からず壊してしまった。気になることがあるとあちこちに電話をしたり、頻繁に病院に行ったり、家電の使い方が分からず壊してしまった。気になることがあるとあちこちに電話をしたり、頻繁に病院に行ったり、家電の

使い方が分からず壊してしまった。気になることがあるとあちこちに電話をしたり、頻繁に病院に行ったり、家電の使い方が分からず壊してしまった。気になることがあるとあちこちに電話をしたり、頻繁に病院に行ったり、家電の



わーなー日誌

『パン・パキンハウス』

が、この方にとっては、単身生活は重荷だったのだと感じています。単身生活は自由と自己責任が表裏一体。その方にとってどんな暮らし方が合っているのかと一緒に考えていく、それが私たちパン・パキンハウスの役割だと感じています。

(三好)

ワーナーホーム ワーキングハイバ ～目指せイクメン～

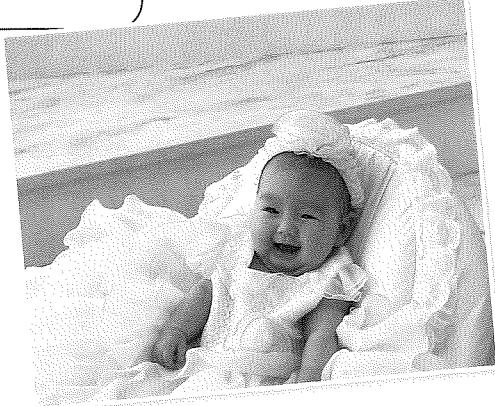
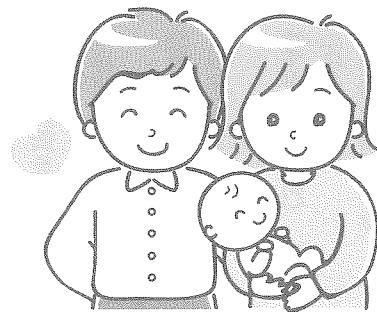
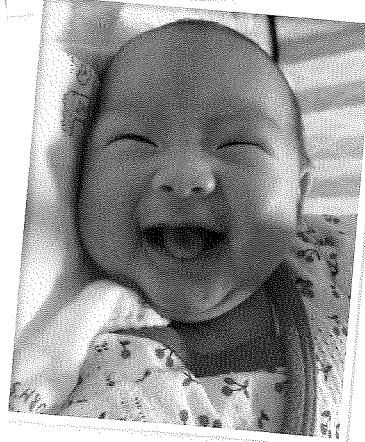
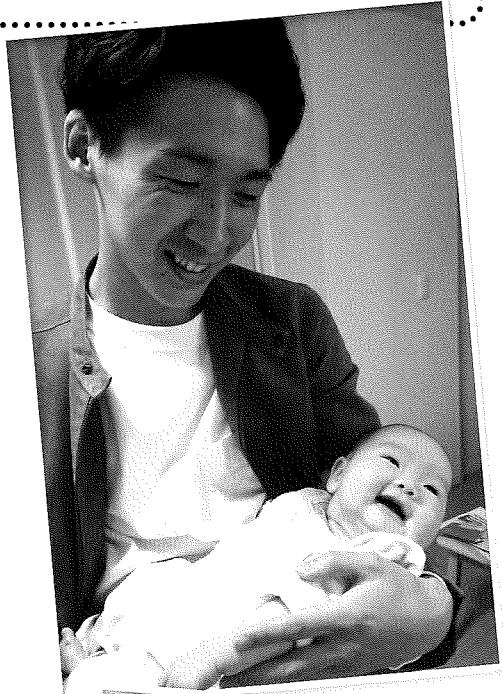
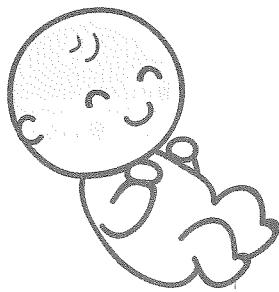


地域活動支援センター
たんぽぽセンター
指導員

筑間 陸征

・・とある1日の流れ・・

7:00	起床・身支度
7:10	ゴミ出し、洗濯、朝食
8:10	出発
9:00	出勤
18:00	退勤
19:00	帰宅、夕食
20:00	娘と入浴、皿洗い
21:00	オムツ交換、ミルクタイム
21:30	寝かしつけ
23:30	仮眠
1:00	オムツ交換、ミルクタイム
2:00	就寝



二〇一九年十一月に入籍し、二〇二一年八月に第一子となる娘が誕生しました。体重二五〇〇g未満で産まれた娘ですが、今ではすくすくと成長し頬がぷつくらしています。娘の誕生以降、スマホ内のフォルダは全て娘の写真でうめつくされていると言つても過言ではありません。毎日毎日、娘のことを考え、考えすぎて眠れなくなることもありました(笑)。

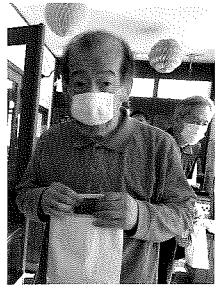
娘が生まれる前は、ゲームが趣味の私でしたが、今やゲームをする時間よりも娘と過ごす時間を優先するようになりました。最近の楽しみは、娘がどうやつたら笑ってくれるかを試すことです。娘のお気に入りは、口をすぼめて「チューチュー」音を出すと口を開けて、目を細くして笑ってくれます。一緒に過ごす時間は短いですが、その分全力で娘にかかわっていきます。そして先日、泣き出した娘の元へ行き、あやしていると初めて笑い声に驚くのと同時に嬉しさの声を出して笑ってくれました。娘は、丁度私たち夫婦の結婚記念日ということもあり、より忘れられない日になりました。

きっといつか来るであろう反抗期にビクビクしていますが、今は嫌がらず笑ってくれる娘との時間を大切にしていきたいです。

ワーナーホームの主な動き

《九月》

- ・ピアサポート活動／長生ブリオ（ワークショップ茂原軽作業棟）
- ・秋レク／ワークショップしらさと（パンキンハウス前）
- ・BBQ／ぶらり
- ・花火大会／エクラス
- ・外出レク／（ペジーブル茂原）ホレブ寮・ノバハイツ



ホレブ・ノバ外出レク

- ・クリスマスオーナメントづくり／エクラス
- ・ラコルタ柏フェスティバルサンドイツカフェ営業／ペジーブル
- ・柏柏市教育福祉社会館

- ・お出かけツアーゼ／（片貝漁港・海の駅九十九里）ホレブディサービスセンター
- ・第二回ピアサポート活動／山武ブリオ